

# 非営利法人ニュース

2020年  
8月号  
Vol. 87

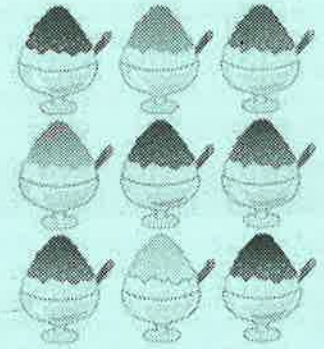


発行 公益総研 非営利法人総合研究所  
東京都港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル  
TEL 03-5405-1811 / FAX 03-5405-1814  
編集協力 (特非)国際ボランティア事業団・(公財)公益推進協会・NPO法人設立運営センター

## ★★ 助成金のお知らせ ★★

### 【1】For Children基金

- 目的: 難病の子どもとその家族は、重い障害やつらい治療に負けず今日も病氣とたたかいつづけています。どんなに重い病氣でも、どんな障害でも子どもは日々、成長・発達しています。そして、そうした子どもたちや家族を支えたい、力になりたい、明日への希望と勇気になりたいという思いで、この助成金ができました
- 助成対象: 日本国内において実施される活動で、以下の要件をすべて満たしたもの
1. 上記の目的を達成しようとする事業であること
  2. 設立後1年以上の活動実績を有する非営利団体が行う事業
  3. 営利を目的としない事業
- 助成件数: 2020年は3~5件程度  
□助成期間: 単年度(2020年9月~2021年8月までの間の活動)  
□助成額: 1件あたり100万円(上限) 補助率の制限はありません。  
□募集期間: 7月1日~9月30日 ※当日消印有効



◎情報満載! 今月のもくじ◎

助成金情報	1
奨学金情報	1
非営利法人関連情報	2,3
CEOコラム	4
編集後記	4

### 【2】横寺敏夫 患者と家族の支援基金

- 目的: 療養中の患者さんやご家族のサポートを積極的に行う団体及び個人に対し、その活動を側面から支援して活動成果の助長奨励の一助とすることで、患者さんやご家族の不安や苦しみが少しでも減り、笑顔が増えることを目的とします。
- 助成対象: 日本国内において実施される活動で、以下の要件のいずれかを満たしたもの。
- (1) 患者さんやご家族に対する様々な支援活動
  - (2) その他この基金の目的達成に資する活動
- 助成件数: 2020年は3団体程度  
□助成期間: 単年度(2020年10月~2021年6月までの間の活動)  
□助成額: 1事業あたり50万円を上限とする。  
(パソコン・カメラ等の耐久消費財の購入・常勤スタッフの人件費等の経常的経費は対象としません)  
□応募手続き: 応募用紙は、当財団ホームページ(<https://kosuikyo.com/>)よりダウンロードし、必要事項を記入した応募用紙と添付書類を郵送してください。  
□募集期間: 2020年7月1日~2020年9月30日 ※当日消印有効

## ★★ 返済のない奨学金のお知らせ ★★

### 【3】「タクト奨学金」

#### 『税理士または公認会計士資格の取得に専念する25歳以下向け奨学金』

- 募集期間: 2020年10月30日まで(当日消印有効)
- 採用人数: 2020年度の奨学生は10名程度を採用とする
- 応募資格: 学生または就労していないこと。かつ以下の①または②を満たす者
- ①税理士試験2科目以上合格していること
  - ②公認会計士試験を1回以上受験したことがあること
- 給付等: 年額20万円を支給します
- ※応募書類等詳細は当財団ホームページ(<https://kosuikyo.com/>)をご確認ください

### ☆助成金・奨学金応募先等☆

#### 【1】【2】助成金

#### 【3】奨学金

→公益財団法人公益推進協会

応募用紙等郵送先  
〒105-0004  
東京都港区新橋6-7-9  
新橋アイランドビル2階  
(公財)公益推進協会  
担当 高野宛

- ・For Children基金
- ・横寺敏夫患者と家族の支援基金
- ・タクト奨学金

お問い合わせ  
03-5425-4201

※奨学金、助成金情報はリンクフリーですので、ご自由にリンクしていただき情報提供をお願いいたします



# 「政党って何のためにあるんだ??」



公益総研株式会社 主席研究員兼CEO  
公益財団法人公益推進協会 代表理事  
(特非)国際ボランティア事業団 理事長 福島 達也

国民民主党の玉木代表は8月11日、立憲民主党との合流について党内の意見が分かれていることから、合流でも解散でもない「分党」をする考えを示した。そもそもって、玉木代表は合流には参加しないらしい。

んんん、ちょっと待てよ!! どちらも後ろに「民主党」ってついていてるけど、この政党っていったい何なんだ?? という人も多いだらう。まあ、いずれにせよ、あの悪名高き「民主党」の残党だと言え、何となくわかるかな?? 民進党とか希望の党とか言っても、何のことかわからないだらうし・・・(笑)

政党って、どうしてこうも簡単に、くっついたり離れたり、はたまた「新党」ができたりするのだろうか?? 国民が望んでそうなるのであれば拍手を送りたいが、たいていは、政治家の中だけのマスターベーションに過ぎないのだ! そうそう、大抵、新党ができたり、別れたりするのは選挙が近づいてくる頃だ。もちろん国民のためではなく、自分たちの保身のためだけに、少しでも有利になるように動くのが政治家だし政党だ! 選挙が近くなると、野党は与党に対抗するために、小さい政党では勝ち目がないので、少しでも大きな政党になろうと一緒にすることが多い。その時は、政策とか理念なんてどうでもよいのだ!! 政治家にとっては、政策よりも当選や政権奪取が重要なのだ!!

だって、かつて「自社さ」政権が誕生したときなんて、「自衛隊反対!!」なんて言い続けていた社会党が、急に天敵である自民党とくっついて政権を取り、「自衛隊容認」って180度政策転換したのだが、まあ、あの時から、政治家には政策なんてのは建前に過ぎないのだなあ・・・と国民も悟ったわけである・・・

しかし、今回はちょっと違ったのだ! 国民民主党は、立憲民主党への合流に対して、賛成派と反対派で分かれたのである。そういう意味では、「あっ、政党にも政策の違いが一応あるんだ!」と見直す人も多かったらう。その一番の違いは、消費税や憲法への考え方らしいが・・・

しかし、本当のことを言おう! 政策の違いではない! 金だ!! 金なのだ!!

だって、全員で合流すると、推定60億円近くため込んだお金をみんな立憲民主党に持っていかれてしまうから、それ以降は自分たちで自由に使えない。だから、合流しないで残れば、うまくいくと全部、悪くても人数分の政党交付金は自分たちのものなのだ!! 簡単に言うと、玉木さんは「お金は俺のものだ」と言っていることと一緒になのだ!! お金が欲しかった立憲民主党の枝野さんとしては、残られると全部お金が来ないので、イライラしているだらう・・・

しかし、こんな野党の勝手な分党や合流に厳しい意見も出てきている。作家の百田尚樹氏は今回の騒動に対して、「国民民主党の分党で、増税派や左翼志向は立憲民主に行ってくれれば、有権者としてはわかりやすい」というユーチューバーのKAZUYA氏の投稿をリツイートした上で「実はどれもこれも似たようなもの。どうせ、また分裂する。川に流れるゴミのかたまりみたいなもので、くっついたり分かれたりしながら、だんだんと下流へ流れていだけ」と、立民を中心とした野党は今後も同様のことを繰り返すと指摘したのだ。百田さん、ナイス!! まさにその通り!!

共産党以外の野党って、政党名も覚えられないくらいのスピードで、くっついたり別れたり、新しくなったり・・・ほんと、いずれ塊がどんどん小さくなって、下流に下るほどゴミが消えて、最後はきれいさっぱりなくなってしまわないだらうか?? はっきり言うが、どうせ、取るに足らないような政党や政治家たちなのだから、私は「消えて当然」だと思う。

だから、共産党のように、バカみたいに頑固に「大企業中心の資本主義社会」にすべて反対し続けたり、公明党のように、とにかく政権与党に居続けながらキャスティングボードを握り、自分たちのやりたいことをうまくねじ込んでいくズル賢さが、それ以外の野党の体たらくを見ていると、なぜだかとても素晴らしく見えるのだ!!

共産党と公明党は永遠に不滅だ!! でも、共産党って頑固すぎて、もうちょっと賢くなれないものだらうか??

だって、「共産党」って名前は恐らく好感度アンケートを取ったら、史上最低だらう(笑)

誰だって、大っ嫌いな中国やロシアや北朝鮮を思い出してしまうし・・・。投票所までは、今度こそ共産党の人に投票しようと思っけていても、つい「共産党」って名前を見て、白票にする人も多いのではないだらうか??

いっそのこと共産党は「とにかく反対! 党」とか「金持ち大っ嫌い党」に変えたらどうだらうか??

小泉さんじゃないけど「大企業ぶっ壊す党!!」とか「貧乏人大逆転党!」なんてもう最高だ!!

絶対に票を伸ばすような気がするのは私だけだらうか??

でも、そうすると、それを見て公明党も「腰ギンチャク党」とか「駄々こね党」って変えちゃうかもしれないかな・・・(笑)

.....CEOコラムバックナンバーはこちらから→ [https://www.iva.jp/nposouken/ceo\\_column.html](https://www.iva.jp/nposouken/ceo_column.html)

## \*編集後記\*

先日、通勤電車が遅延しホームも車内もまさにTHE三密状態! そこへ車内放送がかかり「本日は車両故障による影響で車内が大変混雑しております。皆様、車内中程へお繰り合わせの上、ご乗車願います。」混雑回避ではなく、混雑に拍車をかけるお言葉が…。コロナ前とは変わらぬ世界を実感しました。(ぼん)